

決算報告

平成二十六年年度一般会計・特別会計及び公営企業会計の決算が、町議会9月定例会で認定されました。平成二十六年年度中にみなさんから納めていただいた税金や国・県からの補助金等の収入が、どのように使われたのか、また財政の健全性に関する指標である健全化判断比率の数値はどうか、そして町の保有する資産や負債の状況についてお知らせします。

平成26年度の主な事業と決算額

子育て・文化

子育て世帯臨時特例給付金事業 2,932万円

消費税率引き上げの影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特例的な給付措置として、対象児童1人につき1万円を支給しました。

細川紙ユネスコ登録推進関連事業 230万円

細川紙の手漉和紙技術がユネスコに登録されたことを記念するイベントを実施し、小川和紙の魅力を発信しました。

小中学校空調設備設置事業 1億12万円

竹沢小、八和田小、東小川小、みどりが丘小、櫻台中にエアコンを設置しました。他の小中学校へは今年度設置します。

まち基盤の整備

観光案内板（サイン）整備事業 982万円

栃本親水公園から伝統工芸会館までの槻川流域地区を中心に、観光案内板の設置を行いました。

町道228号線改良工事 3,866万円

ホンダ工場の本格稼働による国道254号線バイパスの慢性的交通渋滞を解消するため、迂回路となる道路を整備しています。

地域の元気臨時交付金基金活用事業 3億6,385万円

平成25年度に積み立てた地域の元気臨時交付金基金（原資は国交付金）を取り崩し、町道・林道・河川の整備、パトリア・図書館の設備改修、日赤の建設負担金に活用しました。

防災・減災

防災行政無線デジタル化事業 2億5,272万円

防災行政無線を多様化・高度化する通信ニーズに対応するためアナログ方式からデジタル方式に移行しました。

小川赤十字病院支援事業 3億円

小川赤十字病院の建設負担金2億5,000万円と運営支援助成金5,000万円を支援しました。

比企広域消防への負担金 4億9,449万円

比企広域市町村圏組合消防特別会計への負担金として常備分4億5,187万円、非常備分4,262万円を負担しました。

都市計画事業

都市計画事業 2億1,402万円

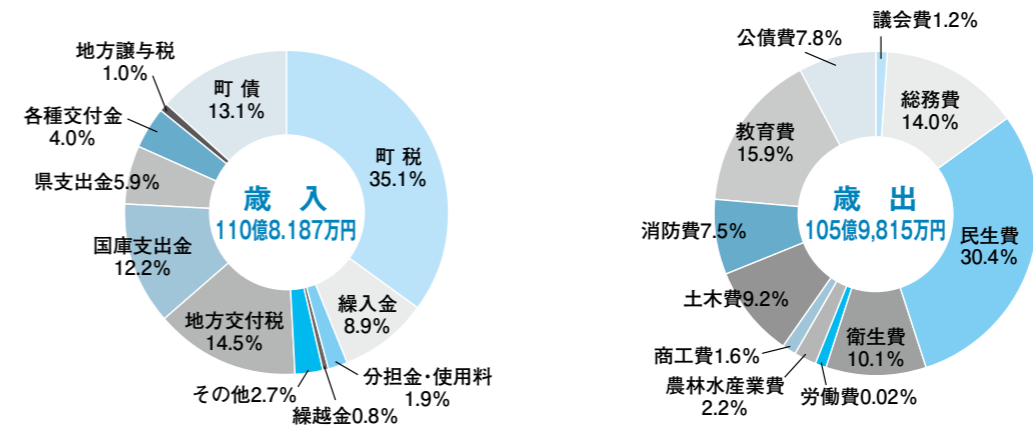
都市計画法及び都市公園法に基づき実施した事業です。このうち下水道事業への繰入金や現在建設中の環状1号線、都市公園の維持管理などに皆さんから納めていただいた都市計画税1億3,710万円を充てています。

まちづくり寄附金による事業

まちづくり寄附金活用事業 450万円

寄附していただいたお金450万円で町立保育園にエアコンを整備、栃本親水公園に遊具を整備、西中学校にピアノを購入、武道館に柔道畳を購入しました。

一般会計



※構成比率は端数の関係上100%にならないことがあります

町税	みなさんが納めた税金	38億8,714万円
繰入金	基金（預金）を取り崩したお金など	9億8,366万円
分担金・使用料等	保育料、施設の使用料、証明書発行の手数料、受益者が負担したお金など	2億1,244万円
繰越金	前年度から繰り越したお金	8,605万円
その他	雑入や寄附金、町の土地を貸したり売ったりしたお金など	3億167万円
地方交付税	所得税などの国税の中から地方の財政運営のために配られたお金	16億324万円
国庫支出金	町の事業に対し、国から交付されたお金	13億4,787万円
県支出金	町の事業に対し、県から交付されたお金	6億5,102万円
各種交付金	地方消費税や自動車取得税の一部として県から交付されたお金など	4億4,750万円
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	1億1,153万円
町債	国や金融機関などから借り入れたお金	14億4,975万円

議会費	議会や議員の委員会などの運営に使ったお金	1億2,845万円
総務費	住民記録、課税徴収、防災対策、文化振興などに使ったお金	14億8,023万円
民生費	高齢者、障害者、児童などの福祉のために使ったお金	32億2,503万円
衛生費	ごみ処理、保健衛生などに使ったお金	10億7,424万円
労働費	労働関係に使ったお金	187万円
農林水産業費	農業関係や林業関係に使ったお金	2億3,059万円
商工費	観光施設の管理や商工振興のために使ったお金	1億7,395万円
土木費	道路や河川の整備、公園の管理などに使ったお金	9億7,603万円
消防費	消防・救急活動のために使ったお金	7億9,473万円
教育費	小・中学校、幼稚園、生涯学習振興などに使ったお金	16億8,447万円
公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	8億2,856万円

●会計別歳入歳出決算額

会計区分	歳入	歳出
一般会計	110億8,187万円	105億9,815万円
特別会計	73億9,446万円	71億8,219万円
国民健康保険	38億5,015万円	37億1,726万円
後期高齢者医療	3億3,839万円	3億3,734万円
介護保険	24億3,692万円	24億1,277万円
下水道事業	6億8,772万円	6億5,116万円
農業集落排水事業	8,128万円	7,516万円
会計区分（企業会計）	歳入	歳出
水道事業	収益的収支 6億8,665万円	6億668万円
	資本的収支 410万円	2億9,049万円

財政健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づく、平成26年度決算についての当町の健全化判断比率及び資金不足比率は以下のとおりです。いずれも早期健全化判断基準、財政再生基準及び経営健全化基準を下回る結果となり、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

1 健全化判断比率

（単位：％）

指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小川町	-	-	3.3	79.7
早期健全化基準	14.34	19.34	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字のため「-」と記載。

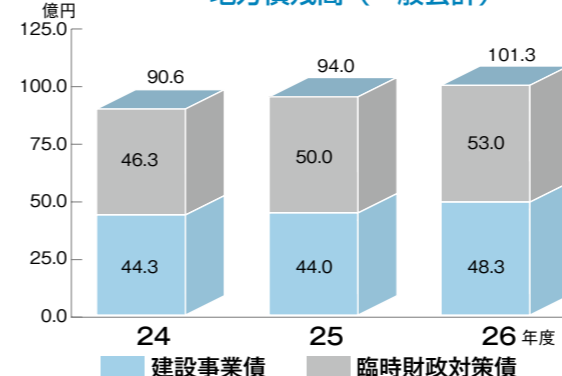
2 資金不足比率（公営企業会計ごとの比率）

（単位：％）

特別会計名	水道事業会計	下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計
資金不足比率	-	-	-
経営健全化基準	20.00	20.00	20.00

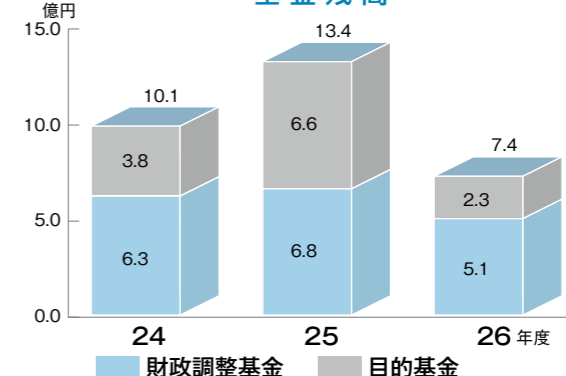
※資金不足比率は、資金の不足額が生じていないため「-」と記載。

地方債残高（一般会計）



※臨時財政対策債は、地方交付税の代わりに地方が借金をすることを認められたもの。返済額は後年度に地方交付税として措置されます。

基金残高



※財政調整基金は、必要な時に取崩して様々な事業の財源に充てるために設置されている基金です。